

今週（12月12日から12月16日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み最終日に向け、調達意欲が徐々に高まる展開となった。  
無担保コールO/N物は、13日までは▲0.07%台半ばでの出会いが中心であったものの、14・15日は着地に向けた調整から徐々に取り上がる先が増加し、▲0.07～▲0.06%台半ばでの出会いが中心となった。16日からは、新しい積み期間となった。今積み期間は、営業日日数が少なく、やや調整し辛い事に加え、基準比率の上昇もあり、序盤から積極的な調達が見られた。  
ターム物に関しては、ショートタームでの引き合いが散見された。  
日銀当座預金残高は475兆円強から始まり、14日の貸出増加支援オペや15日の年金定時払いを主因に、16日には490兆円程度まで増加した。

●レポ市場

今週のO/N GCIは、▲0.10～▲0.07%のレンジでの取引となった。足元では、投資家の資金調達意欲が強く、しっかりと地合いとなった。  
SCはカレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが流通市場で買い進まれ、堅調な推移となった。  
16日に実施された3M物の入札は、テールが流れる弱めの結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、しっかりと推移する展開となった。  
短国買入オペは、13日に前回と同額の1,000億円でオファーされ、按分利回り較差+0.007%、平均落札利回り較差+0.012%と、やや弱めの結果となった。

●CP市場

今週のCP発行市場は、電気機器、建設、小売業、鉄鋼等、複数の業態から大型発行が実施され、活況なマーケットとなった。全体としては週間発行総額1兆4,600億円に対し、償還総額1兆1,800億円となり、2,800億円の発行超となった。  
市場残高は28兆円台後半で始まり、15日には29兆円台まで達し、8月下旬以来の過去最高水準となった。  
発行レートについては、引き続き0%から浅いプラス圏での出会いが中心となったが、年度末越えのロングターム物については、投資家のニーズが低く、レート水準にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
12/12 (月)	27,842.33	0.250	136.77	△ 0.077	△ 0.087	4,756,100
12/13 (火)	27,954.85	0.250	137.80	△ 0.075	△ 0.086	4,762,100
12/14 (水)	28,156.21	0.250	135.53	△ 0.068	△ 0.087	4,788,400
12/15 (木)	28,051.70	0.250	135.37	△ 0.064	△ 0.093	4,874,200
12/16 (金)	27,527.12	0.250	137.63	△ 0.072	△ 0.089	4,890,600

## 来週（12月19日から12月23日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
12/19 (月)	日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00~) 7-9月期の資金循環統計速報(日銀 8:50)	TB1Y 35,000億円 12/20発行	
12/20 (火)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30)		11月の米住宅着工件数
12/21 (水)	月例経済報告(内閣府)	流動性供給 5,000億円 12/22発行	11月の米中古住宅販売
12/22 (木)	10月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)		7-9月期の米GDP確報値 12月の米CB消費者信頼感指数 7-9月期の英GDP改定値
12/23 (金)	11月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 金融政策決定会合議事要旨(10月27・28日分 8:50)		11月の米耐久財新規受注 11月の米個人所得・消費支出 11月の米新築一戸建て販売件数

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
12/19 (月)	▲ 1,900	▲ 1,300	▲ 3,200	国債買入 国債補完 CP買入 社債買入		1,400	19,100	15,900	TB3M発行▲60,000償還56,000
12/20 (火)	▲ 5,000	86,500	81,500	社債買入 全店共通	▲ 1,500	1,000	▲ 500	81,000	国債の大量償還・利払い TB1Y発行▲35,000償還20,000 5Y償還12,500、10Y償還65,500 20Y償還11,400 エネルギー対策借入▲6,800期日6,500
12/21 (水)	▲ 3,000	▲ 9,000	▲ 12,000				0	▲ 12,000	恩給 機関貸元利回収
12/22 (木)	▲ 2,000	▲ 5,000	▲ 7,000				0	▲ 7,000	流動性供給▲5,000
12/23 (金)	▲ 3,000	5,000	2,000	新型コロナオペ	▲ 11,900		▲ 11,900	▲ 9,900	
週間合計	▲ 14,900	76,200	61,300	—	4,300	2,400	6,700	68,000	

12/19は日銀予想、12/20以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、積み初日は様子見に回っていた先も多いと予想されるため、ビッドサイドの動向が注目される。債券レポGC O/N物は、▲0.09～▲0.07%のレンジでの推移が予想される。短国市場は、19日に1Y物の入札実施が予定されており、年内最後の短国入札となる。また、21日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、特段のイベントが無いなか、年末付近の発行動向や市場残高がどこまで伸びるのか注目される。

主要なイベントは、国内では、19日から20日に日銀金融政策決定会合、23日に11月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、22日に7-9月期の米GDP確報値、7-9月期の英GDP改定値、23日に11月の米個人所得・消費支出(PCE)、11月の米新築一戸建て販売件数などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよく読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入